

平成 28 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために平成 17 年度より毎年度、大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび平成 28 年度の調査結果を取りまとめました。概要は以下の通りです。

- 1) 調査地点: 全国 36 地点 82 カ所(解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象)
- 2) 測定方法: 「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.0 版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)
- 3) 調査結果
 - ・ 発生源周辺地域(調査実施 15 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値: 0.19~0.25 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点: 無し

[参考]

解体現場のセキュリティゾーン出入口及び集じん機排気口(2 地点 4 カ所)
 総繊維数濃度の幾何平均値: 0.91~1.0 本/L
 総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点: 2 地点
 ⇒ 解体現場のセキュリティゾーン出入口…アスベスト繊維数濃度: 0.69 本/L
 ⇒ 解体現場の集じん機排気口…アスベスト無し

- ・ バックグラウンド地域(調査実施 21 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値: 0.17~0.21 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点: 無し
- 継続調査地域(29 地点 60 カ所)における調査結果
総繊維数濃度の幾何平均値: 0.17~0.25 本/L

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気において A ランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 2017 年 10 月 30 日付 環境省 報道発表資料

研究開発箇所 杉田高則

